

新生・世界分散ファンド

(複利効果重視型) / (分配重視型)

追加型投信 / 内外 / 資産複合



お申込みの際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

<投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは>

<設定・運用は>

 新生インベストメント・マネジメント

ファンドの特色

① 先進国の債券と株式に分散投資します

- 「新生・世界分散ファンド(複利効果重視型)」と「新生・世界分散ファンド(分配重視型)」(以下、総称して「当ファンド」といいます)は世界債券マザーファンド受益証券と世界株式マザーファンド受益証券(以下、総称して「マザーファンド受益証券」といいます)への投資を通じて、主として世界の先進国の債券と株式等に分散投資を行います。債券は国債への投資を基本とします。
- 各マザーファンド受益証券の組入比率は1:1程度を基本とします。
- シティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)とMSCIワールド・インデックス(円換算ベース)を50%ずつ組合わせた合成インデックスをベンチマークとして、これを上回るパフォーマンスをめざしてアクティブ運用を行います。
- 実質組入外貨建て資産について、為替ヘッジは原則として行いません。

② スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント・リミテッドに運用を委託します

- マザーファンド受益証券における債券および株式等の運用指図に関する権限をスイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント・リミテッド(以下、「スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社」といいます)に委託します。

③ 投資目的に合わせて2つのファンドから選べます

- 「新生・世界分散ファンド(複利効果重視型)」と「新生・世界分散ファンド(分配重視型)」の2つのファンドがあります。
- 2つのファンド間でスイッチング※はできません。

※複数のファンドをグループにまとめ、その中で自由にファンドを乗換えられる仕組みがあります。このファンド間乗換えのことをスイッチングといいます。

当ファンドの分配方針

「複利効果重視型」と「分配重視型」の2つのファンドがあり、決算回数や分配方針が異なります。

新生・世界分散ファンド (複利効果重視型)

決算は年1回、12月20日(休業日の場合は翌営業日)に行います。
原則として、元本の成長に重点を置き、分配金額は極力抑える方針です。

1月・2月・3月・4月・5月・6月・7月・8月・9月・10月・11月



複利効果重視型は分配金を抑え、複利効果*を利用して資産の成長をめざしていきます。じっくりと資産の成長をめざしていくファンドです。

※このファンドの複利効果とは、投資した資産から生まれた利子・配当等を分配せずに、債券や株式等に投資する原資にすることで、一層の資産の成長をめざすものです。

新生・世界分散ファンド (分配重視型)

決算は年4回、3月、6月、9月、12月の20日(休業日の場合は翌営業日)に行います。
分配金額は、基準価額の水準等を勘案しながら、原則として極力多くする方針です。

1月・2月 3月 4月・5月 6月 7月・8月 9月 10月・11月 12月



分配重視型は分配可能額の範囲内で、極力収益を分配することをめざします。資産の成長よりも分配金の受取りを重視したファンドです。

※上図はイメージであり、将来の分配金の支払いを約束するものではありません。

※基準価額の水準等によっては分配を行わない場合もあります。

スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社について

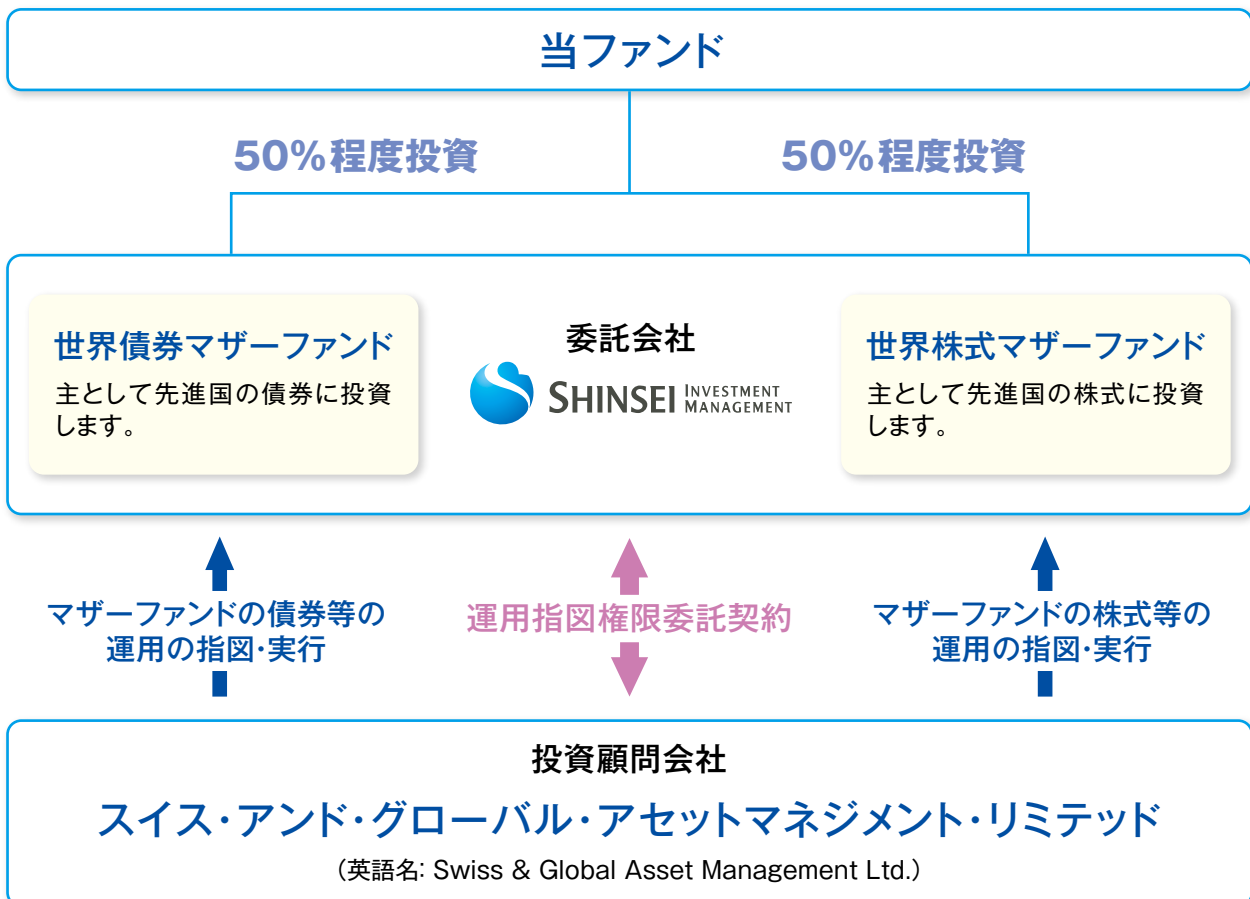
- スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社は資産運用業務を行うGAMホールディング・リミテッド（以下、「GAMホールディング」といいます）傘下の運用会社です。
- GAMホールディングは、長い歴史と豊富な経験を持つプライベート・バンキングのスペシャリストであるジュリアス・ベア・グループから2009年10月に分社化した資産運用会社で、傘下の運用会社である、GAM社とスイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社を通じて、株式および債券ファンドの運用・販売のほか、多岐にわたる運用サービスを提供しています。2010年6月末現在の運用資産残高は、1,170億スイス・フラン（約10兆2,000億円*）です。
- スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社は、株式、債券、商品などの資産クラスにおいて、「ジュリアス・ベア」ブランドのファンドの設定および運用などを手掛けており、2010年6月末現在の運用資産残高は780億スイス・フラン（約6兆8,000億円*）です。

※当ファンドのマザーファンドの投資顧問会社は、2009年10月1日にバンク・ジュリアス・ベア・アンド・シーオー・エルティディからスイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社に変更となりました。

*2011年1月末現在の三菱東京UFJ銀行対顧客電信相場仲値にて換算
出所:スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント社、ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

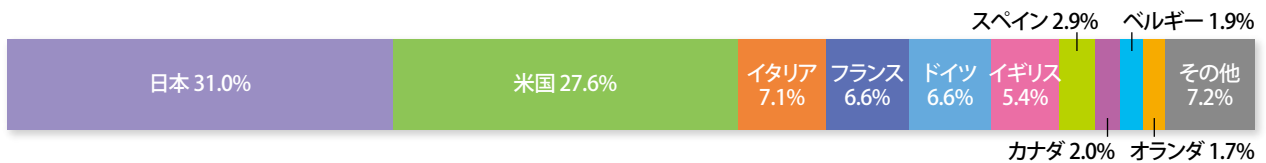
ファンドの仕組みについて

当ファンドは、新生インベストメント・マネジメントが設定・運用する投資信託で、世界債券マザーファンド受益証券と世界株式マザーファンド受益証券を親投資信託とするファミリーファンド方式で運用します。

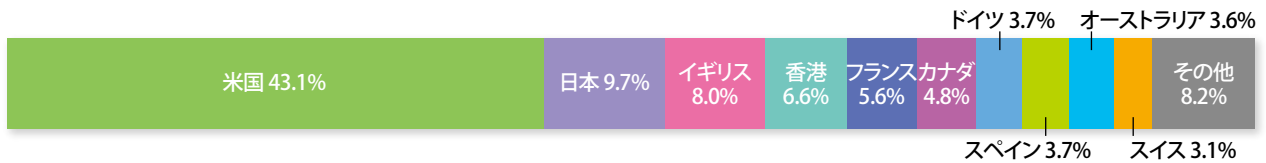


インデックスの国別投資比率

シティグループ世界国債インデックスの国別構成比率(2010年12月末時点)

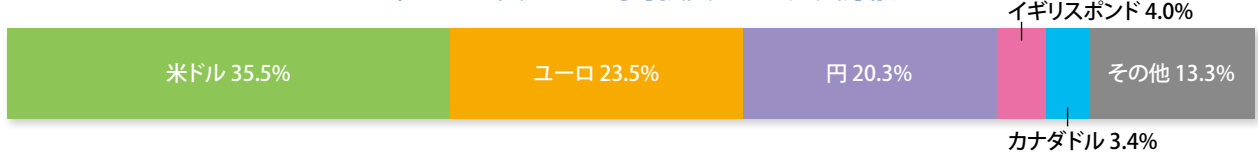


MSCIワールド・インデックスの構成国の株式時価総額比率(2009年12月)



*上記の国別構成比率はMSCIワールド・インデックスの構成国の株式時価総額に基づいて計算したものです。MSCIワールド・インデックスの国別構成比率ではありませんのでご注意ください。

上記2つの資産への均等投資による通貨分散



*上記の通貨別構成比率はシティグループ世界国債インデックスの通貨別構成比率とMSCIワールド・インデックスの構成国の株式時価総額による通貨別構成比率で計算した構成比率です。

※上記3つのグラフは四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。

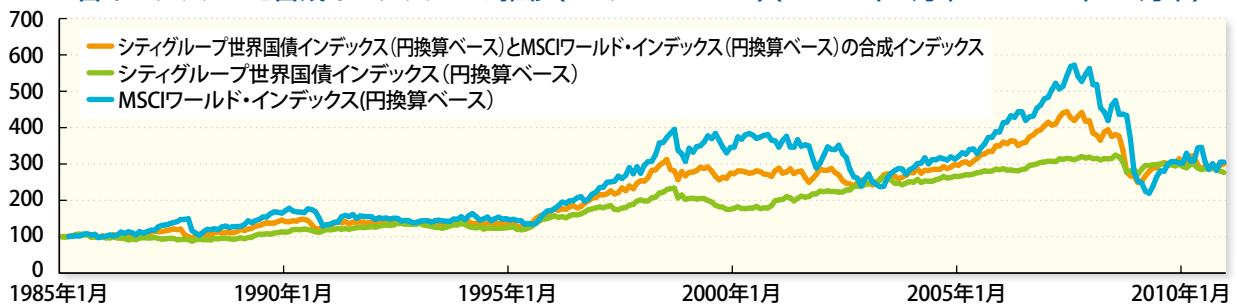
※上記3つのグラフの構成比率はマザーファンド受益証券が投資する国別および通貨別の構成比率ではありませんのでご注意ください。

出所: Fixed Income Direct Japan, S&P Global Stock Markets Factbook2010のデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成、2010年12月末現在。

先進国の国債と株式のバランス運用

シティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)と、MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)を50%ずつ合わせた合成インデックスの推移です。

各インデックスと合成インデックスの推移(シミュレーション)(1985年1月末~2010年12月末)



※1985年1月末を100として指数化しています。

※シティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)はシティグループ世界国債インデックス(日本を含む)を使用し、新生インベストメント・マネジメントが、各月末のスポットレートにより円換算したものです。

※MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)はMSCIワールド・インデックスを使用し、新生インベストメント・マネジメントが、各月末のスポットレートにより円換算したものです。

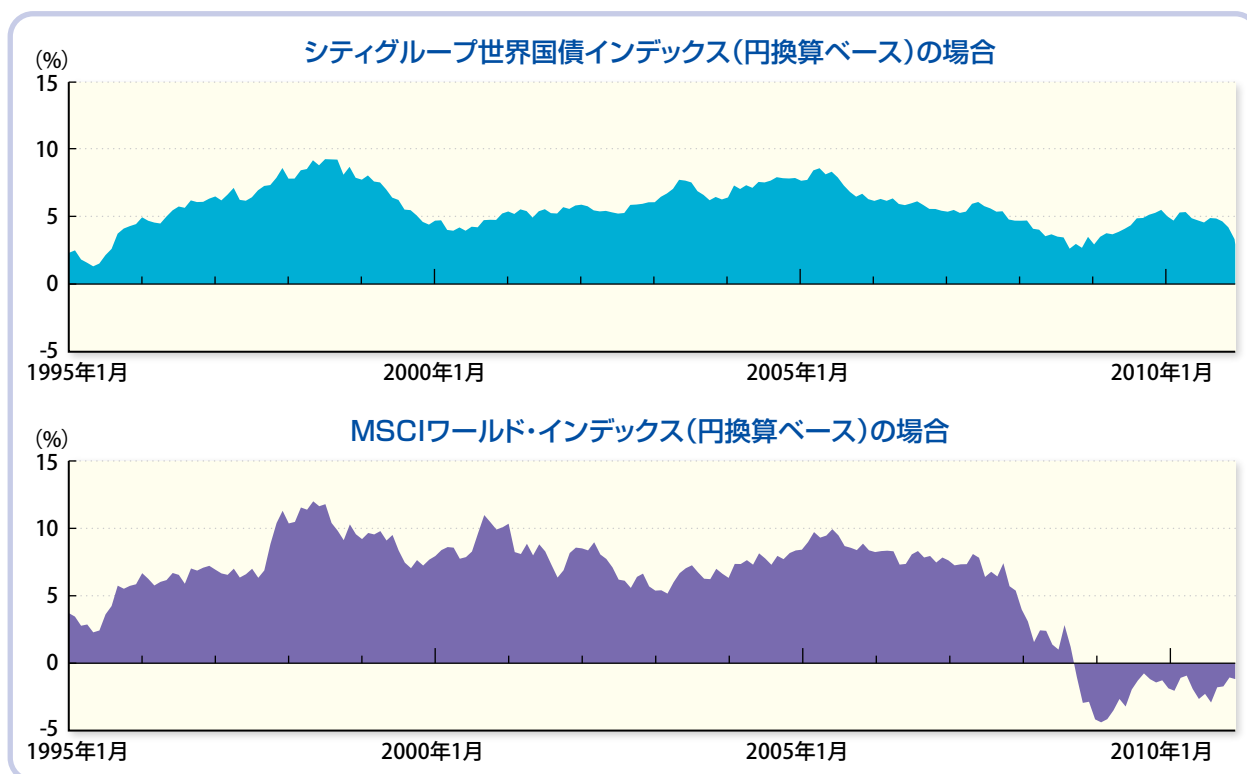
※上記グラフは過去の一定期間におけるシミュレーションの結果であり、将来の運用成果等を保証または示唆するものではありません。

出所: ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

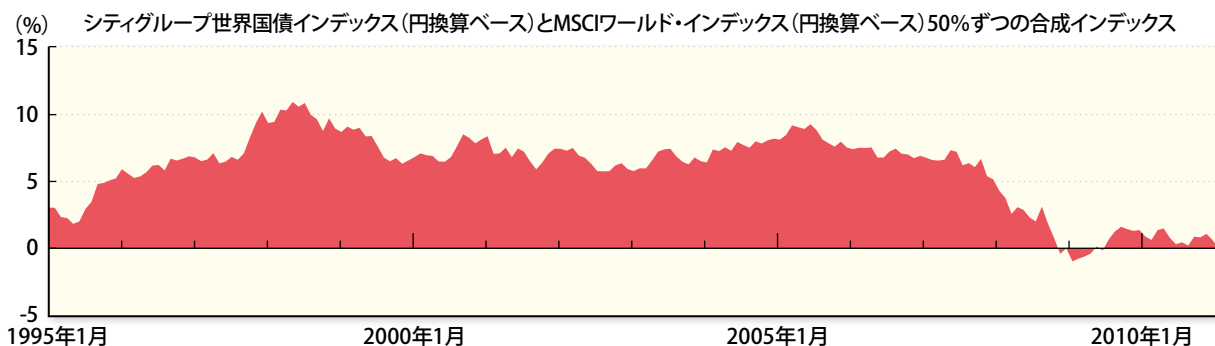
分散投資効果

先進国の国債と株式に分散投資を行い10年間保有した場合の収益率 (年率換算:シミュレーション結果)

下記グラフは当該インデックスに10年間投資した場合の収益率を示しています。例えば、1995年1月の収益率とは、1985年2月から投資を始めて1995年1月に投資を終了した場合の10年間の収益率(年率)です。



合成インデックスに投資した場合



※シティグループ世界国債インデックス(円換算ベース)はシティグループ世界国債インデックス(日本を含む)を使用し、新生インベストメント・マネジメントが、各月末のスポットレートにより円換算したものです。

※MSCIワールド・インデックス(円換算ベース)はMSCIワールド・インデックスを使用し、新生インベストメント・マネジメントが、各月末のスポットレートにより円換算したものです。

※上記グラフは過去の一定期間におけるシミュレーションの結果であり、将来の運用成果等を保証または示唆するものではありません。

※上記グラフは過去の各指数の実績に基づいて算出されたものであり、実際にはインデックス自体には投資できません。また、投資に必要と考えられるコストなどは考慮されていません。

出所:ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成、データ期間は1985年1月末から2010年12月末。

お申込みメモ

ファンド名	新生・世界分散ファンド(複利効果重視型) / (分配重視型)
商品分類	追加型投信/内外/資産複合
当初設定日	2007年12月27日(木)
信託期間	無期限とします。
決算日	新生・世界分散ファンド(複利効果重視型):毎年12月20日 新生・世界分散ファンド(分配重視型):毎年3/6/9/12月の20日 *当該日が休業日の場合は翌営業日
収益分配	決算時に、原則として収益の分配を行います。 ※分配金を受け取る「一般コース」と、自動的に再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。 なお、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合は、購入および換金のお申込みはできません。 ● チューリッヒの銀行休業日
申込締切時間	午後3時までで、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
購入単位	販売会社が定める単位とします。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額(当該基準価額に0.1%の率を乗じて得た額)を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して、5営業日目からお申込みの販売会社でお支払いします。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。益金不算入制度、配当控除の適用はありません。

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

購入時手数料	購入価額に3.15%(税抜3.0%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。 ※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.1%の率を乗じて得た額を、ご換金時にご負担いただきます。
運用管理費用 (信託報酬)等	■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 信託報酬 信託財産の純資産総額に対して年1.6485%(税抜1.57%)
その他費用・ 手数料	■組入る有価証券の売買委託手数料、外貨建て資産の保管等の費用、借入金の利息、立替金の利息、監査報酬等 (その他費用・手数料につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。)

なお、お客さまにご負担いただく費用等の合計額につきましては、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

【委託会社、その他関係法人】

委託会社	新生インベストメント・マネジメント株式会社(設定・運用等) 登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第340号 加入協会 社団法人投資信託協会 社団法人日本証券投資顧問業協会 協会会員番号 第011-01067号
受託会社	中央三井アセット信託銀行株式会社(信託財産の管理等)
販売会社	(募集・換金の取扱い・目論見書の交付等)
投資顧問会社	スイス・アンド・グローバル・アセットマネジメント・リミテッド (世界債券マザーファンドおよび世界株式マザーファンドにおける債券と株式等の運用の指図に係る権限を委託)

ファンドの主なリスクと留意事項

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

●以下に記載するリスクおよび留意点は当ファンドのリスクおよび留意点を完全に網羅しておりませんのでご注意ください。ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。

当ファンドは、組入れた有価証券等の値動きにより、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

1. 価格変動リスク

① 株価変動リスク

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券を通じて株式に投資します。一般的に株式の価格は、発行企業の業績や国内外の政治・経済情勢、金融商品市場の需給等により変動します。また発行企業が経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた株式の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

② 金利変動リスク

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券を通じて公社債に投資します。公社債の価格は、一般的には金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します。また発行体が財政難や経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた公社債の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

2. 為替変動リスク

当ファンドは、実質的に外貨建て資産に投資しますので、投資した資産自体の価格変動のほか、当該資産の通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受け、基準価額が大きく変動し、投資元本を割込むことがあります。為替レートは、各国の経済・金利動向、金融・資本政策、為替市場の動向など様々な要因で変動します。

3. カントリーリスク

当ファンドは、実質的に海外の資産に投資します。このため、投資対象国・地域の政治・経済、投資規制・通貨規制等の変化により、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

4. 信用リスク

当ファンドは、実質的に組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに対する外部評価の変化等により基準価額が影響を受け、投資元本を割込むことがあります。

5. その他

金融商品取引所等の取引停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情がある場合等は受付を中止することや、あるいは既に受付けた注文を取消することがありますのでご注意ください。また投資信託に関する法令、税制、会計制度などの変更によって、投資信託の受益者が不利益を被るリスクがあります。

ファンドのリスクは上記に限定されるものではありません。

ご留意いただきたい事項

- 当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社がファンドの仕組み等をご理解いただくために作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。
- ファンドは、実質的に株式、債券など値動きのある資産（また外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります）に投資しますので、市場環境等により基準価額は変動します。したがって、元金保証および利回り保証のいずれもなく、運用実績によっては投資元本を割込むおそれがあります。
- ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。
- お申込みの際には、あらかじめまたは同時に投資信託説明書（交付目論見書）をお受取りいただき、必ず内容をご理解のうえ、お客さまご自身でご判断ください。
- 投資信託は預金や保険とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。
- 販売会社が銀行等の登録金融機関の場合、投資者保護基金の補償の対象ではありません。
- 投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用（信託報酬）等がかかります。

当資料で使用している指数について

- 「シティグループ世界国債インデックス」とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はシティグループ・グローバル・マーケット・インクの知的財産であり、指数の算出、数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利はシティグループ・グローバル・マーケット・インクが有しています。
- 「MSCI ワールド・インデックス」とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の主要国の株式指数を各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。